

# 監査論 - 上級講義の講義範囲表

講義回数	講義内容
上級期第 1 回	監査総論
上級期第 2 回	監査基準論, 監査主体論総論
上級期第 3 回	監査の品質管理
上級期第 4 回	監査の品質管理, 監査実施論総論, 十分かつ適切な監査証拠, 確認
上級期第 5 回	確認, 分析的手続, 監査リスク, リスク・アプローチ, 監査の計画及び実施における重要性
上級期第 6 回	監査の過程で識別した虚偽表示の評価, 監査計画, 内部統制
上級期第 7 回	リスク評価手続, リスク対応手続
上級期第 8 回	リスク対応手続, 特別に検討を必要とするリスク, 内部監査の利用, 監査サンプリング
上級期第 9 回	監査サンプリング, 会計上の見積りの監査
上級期第 10 回	会計上の見積りの監査, 監査調書, 経営者確認書, 特定項目の監査証拠
上級期第 11 回	監査役等とのコミュニケーション, 内部統制の不備に関するコミュニケーション, 初年度監査の期首残高, 項目別監査手続
上級期第 12 回	監査報告論総論 (除外事項まで)
上級期第 13 回	監査報告論総論 (未確定事項から後発事象まで)
上級期第 14 回	監査報告論総論 (財務諸表と共に補足的な情報が表示される場合から), グループ監査
上級期第 15 回	グループ監査, 専門家の業務の利用, 業務を委託している企業の監査上の考慮事項, 監査人の交代
上級期第 16 回	継続企業の前提に関する監査人の検討, I T 環境下の監査
上級期第 17 回	財務諸表監査における不正への対応, 財務諸表監査における法令の検討
上級期第 18 回	関連当事者の監査, 監査業務の契約条件の合意, 公認会計士法
上級期第 19 回	公認会計士法, 倫理規則
上級期第 20 回	倫理規則, 金融商品取引法に基づく開示・監査制度, 保証業務
上級期第 21 回	内部統制監査
上級期第 22 回	内部統制監査, 四半期レビュー, 連結監査
上級期第 23 回	中間監査, 会社法監査